【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公開番号】特開2003-152561(P2003-152561A)
【公開日】平成15年5月23日(2003.5.23)
【出願番号】特願2001-343802(P2001-343802)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　1/04
　Ｈ０３Ｄ　7/00
　Ｈ０４Ｂ　1/26
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　1/04　　Ｆ
　Ｈ０３Ｄ　7/00　　Ｃ
　Ｈ０３Ｄ　7/00　　Ｄ
　Ｈ０４Ｂ　1/26　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成16年7月2日(2004.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
　最終段である三段目の混合器２８はバンドパスフィルタ２９を介して次段の混合器２４に縦続接続される。三段目の混合器２８には９５０ＭＨｚに変換された信号と第三の局部発振器３０からの局部発振信号とが入力される。第三の局部発振器３０は１３５０ＭＨｚ～１８５０ＭＨｚの範囲で０．１２５ＭＨｚステップで発振するように第三のＰＬＬ回路３１によって制御される。そして、三段目の混合器２８からは４００ＭＨｚから９００ＭＨｚの範囲の信号が出力される。出力される信号の周波数間隔は第三のＰＬＬ回路２８のステップ周波数である０．１２５ＭＨｚとなる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　次段の混合器４は第一のバンドパスフィルタ５を介して初段の混合器１に縦続接続される。次段の混合器４には５０ＭＨｚ～５０．８７５ＭＨｚのいずれかの周波数に変換された信号と第二の局部発振器６からの局部発振信号とが入力される。第二の局部発振器６は発振周波数が１０００ＭＨｚ又は９９９ＭＨｚで発振するように第二のＰＬＬ回路７によって制御される。そして、次段の混合器４からはほぼ９５０ＭＨｚで０．１２５ＭＨｚ間隔のいずれかの周波数に変換された信号が出力される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】

以下に、三段目の混合器８から出力される信号の周波数（出力周波数ＯＵＴ）に対する第一の局部発振器２の発振周波数（第一局発周波数ＯＳＣ１）と、第二の局部発振器６の発振周波数（第二局発周波数ＯＳＣ２）と、第三の局部発振器１０の発振周波数（第三発周波数ＯＳＣ３）との関係を表１によって説明する。

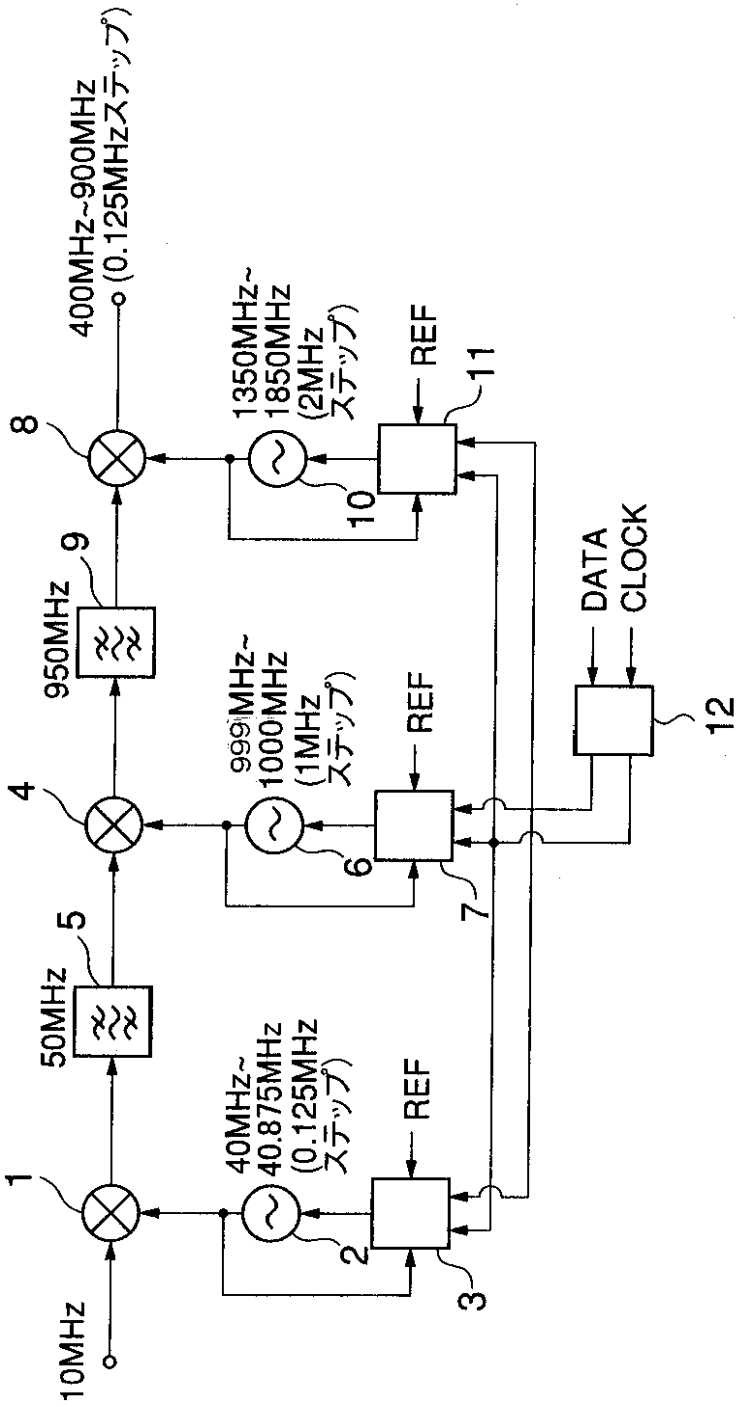
【表１】

OUT	OSC1	OSC2	OSC3
400.000	40.000	1000.000	1350.000
400.125	40.125	↓	↓
・ ・ ・			
400.875	40.875		
401.000	40.000	999. 000	
401.125	40.125	↓	
・ ・ ・			
401.875	40.875	↓	↓
402.000	40.000	1000.000	1352.000
402.125	40.125	↓	↓
899.875	40.875	1000.000	1850.000
900.000	40.000	999.000	1850.000
0.125MHz ステップ	0.125MHz ステップ	1MHz ステップ	2MHz ステップ

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
先ず、出力周波数（ＯＵＴ）が４００ＭＨｚであれば、第一の局発周波数（ＯＳＣ１）乃至第三の局発周波数（ＯＳＣ３）はそれぞれ４０ＭＨｚ、１０００ＭＨｚ、１３５０ＭＨｚである。そして、出力周波数（ＯＵＴ）が高くなるに従って第一局発周波数（ＯＳＣ１）が０．１２５ＭＨｚ間隔で高くなり、出力周波数（ＯＵＴ）が丁度１ＭＨｚ高い４０１ＭＨｚになるときに第一局発周波数（ＯＳＣ１）は４０ＭＨｚにリセットされる。同時に、第二局発周波数（ＯＳＣ２）が１ＭＨｚ低くなって９９９ＭＨｚにセットされる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
以下同様にして、出力周波数（ＯＵＴ）が１ＭＨｚ高くなる毎に第一局発周波数（ＯＳＣ１）はリセットを繰り返し、第二局発周波数（ＯＳＣ２）は１０００ＭＨｚと９９９ＭＨｚとを繰り返す。また、第三局発周波数（ＯＳＣ３）は出力周波数（ＯＵＴ）が２ＭＨｚ高くなる毎に２ＭＨｚステップで高くなる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図２】


10MHz
40MHz~
40.875MHz
(0.125MHz
ステップ)
REF
50MHz
999MHz~
1000MHz
(1MHz
ステップ)
REF
950MHz
1350MHz~
1850MHz
(2MHz
ステップ)
REF
400MHz~900MHz
(0.125MHzステップ)
DATA
CLOCK
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12